

令和2年度

学生によるオレンジリボン運動

日本女子体育大学附属二階堂高等学校 実施報告書



実施主体 保健福祉コース 3年

実施内容 令和2年12月～令和3年1月 1年生へのオレンジリボン啓発のための動画作成

①事前に取り組んだ内容

オレンジリボンについてのアンケートからスタートし、児童虐待被害のデータの確認や、虐待の起こる背景について2年次までに学んだ内容をふまえて復習の講義を実施した。また、現在日本で子どもを育てる際の困難はどのようなところにあるかグループで話し合いを行い、子育て支援や、周囲の友人などで家庭が安心できる場所でない子どもたちへの支援機関などについて調べた。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

1年生に対し虐待の種類など基礎的な内容について伝えるとともに、虐待が起きやすい環境や、子育て支援の必要性などを交えながら虐待を発見した際、もしくは自分や友人が虐待されているかもしれないと感じたときに、どのような人が支援者となるのか、また189を思い出せるように準備した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、直接教室でレクチャーを行うことは避け、内容を録画し1年生に観てもらう形で実施した。クイズ形式なども取り入れ、興味をもってもらえるよう工夫していた。また、アンケートと手づくりのオレンジリボンを作成し1年生に配布した。

③オレンジリボン運動を終えて…

3年生は児童虐待について踏み込んだ学習を行うことによって、“虐待”が起こるのは特別なことではなく、身近な問題であると感じたようであった。

また、1年生については虐待の定義やしつけと虐待の具体的な線引きを知ったことにより、自分達が虐待に気づき誰かの助けになれるかもしれないという自信が持てたようであった。生徒から、保護者の意見も聞いてみたいという新たな提案もあり、次年度以降の学習に活かしていきたい。



【学校名】 <https://nikaido.ed.jp/>